

序章

- ・ムハンマドを諷刺した「シャルリ・エブド」へのテロが「私はシャルリ」と国民を一体化させた。
- ・デモはライシテを尊重さえすればカトリック同様、イスラム教を受け入れると主張
- ・民衆はシャルリではなく、ライシテの伝統よりカトリシズムの文化がシャルリとなる

第1章 宗教的危機

- ・カトリシズムの末期的危機 以前(1960年ころ)はフランス人の94%がカトリック 今はほとんど無信仰で若者の6%がカトリック
- ・宗教の崩壊と外国人恐怖症の急増 ドイツの宗教離れ→社会民主主義と反ユダヤ主義の台頭→ナチズム

現在はカトリシズムの衰退→外国人恐怖症 東欧でも共産主義が崩壊→カトリシズム衰退

- ・カトリック的フランスと世俗的フランス—1750年～1960年 この期間の基本構造
- ・二つのフランスと平等 パリ中心のフランスと周縁部分のフランス
- ・唯一神から単一通貨へ 社会上層部の参政と元カトリック教徒の賛成
- ・フランソワ・オランド、左翼、ゾンビ・カトリシズム ゾンビ・カトリシズムの出現
この中にはイスラム恐怖症、反ユダヤ主義を含む社会党を産み出すオランドはその体现者
- フランス社会党は保守的右派以上に弱者に冷淡
- ・2005年—階級闘争の機会を逃したか？
フランス革命が脱キリスト教化の結果でナチズムがルター主義の崩壊の帰結
- ・無神論の困難さ カトリシズムの崩壊は世俗主義的フランスの危機 イスラム今日の悪魔化は脱キリスト教に対応する

第2章 シャルリ

- ・都市部に住む10人に1人がデモに参加
- ・シャルリ—管理職、上級職、カトリック教徒のゾンビ
「私はシャルリだ、私はフランス人だ、私には、自分のカトリシズムに対するのとまったく同様に他者たちのイスラム教に対しても冒涇する権利があり、さらにその義務さえある」これが主要テーマ デモ参加者とマーストリフト条約賛成は同一の層
- ・ネオ共和主義
移民二世三世はデモに参加しない 新たなライシテ支持者がネオ共和主義
- ・1992年～2015年—ヨーロッパ主義からネオ共和主義へ
- ・ネオ共和主義的現実—中産階級の福祉国家
フランスのヘゲモニーを握っているのは中産階級(M)、高齢者(A)、ゾンビ(Z)で総称MAZ フランスは19%の中産階級の福祉国家 ピケティの存在
- ・シャルリは不安なのだ イスラム恐怖症の新聞・雑誌が経済的危機
- ・ライシテVS左翼 シャルリのデモはイスラム教徒と労働者を排除した 労働者は国民戦線へ
- ・カトリシズム、イスラム恐怖症、反ユダヤ主義

第3章 逆境に置かれた平等

平等の危機は世界的、フランスのエリート主義と大衆主義の対立 日本はめだたない

- ・ 世俗的で平等的なフランスが直面する困難 ゾンビカトリシズムの成功の原因はア・プリオリに不平等を受け入れている
- ・ 難局にある資本主義の人類学 英米と日独の違い
- ・ 不平等のヨーロッパ 不平等の北が平等の南に対して優位 神への信仰の喪失がユーロを發明
- ・ フランス、ドイツ人たち、アラブ人たち ドイツは服従の対象、アラブ世界は劣等的
- ・ ドイツと割礼 ドイツの強いこだわり
- ・ 2015年1月11日のヨーロッパ主義的大ハプニング 限定された階層が移民、労働者をおいやる
- ・ ロシアという例外 ロシアは平等を権威に結びつける 現在も平等主義を維持し、西洋的新自由主義に対する抵抗の埠頭
- ・ 危険な四段階 イデオロギーの逆転 p 184

第4章 極右のフランス人たち

- ・ フランス中央部への国民戦線のゆっくりした歩み 極右が労働者層を支持基盤にしたのは歴史上はじめて フランス革命の中心だった地域に伸び レイシストとしてのFN
- ・ 共和主義的な反ユダヤ主義 労働者は中産階級に昇り得ないそこで怒りを移民に向ける
- ・ ルペン、サルコジ、平等 平等主義的地域へのUMP（国民運動連合）の定着 UPMとFNが接近
- ・ 社会党と不平等 不平等主義のPS PSは客観的に外国人恐怖症（本当は移民を望んでいない） FNは主観的に外国人恐怖症
- ・ 左翼党党首メランションと不平等 共産党が左翼党にのった 左翼と極左が不平等的な価値観を介してむすびついている
- ・ 人間の取るに足らなさといデオロギーの暴力 ユーロに対する信念と「イスラム教徒の異質性」に対する信念の合体

第5章 イスラム教のフランス人たち

- 「フランスのイスラム教徒たち」など存在していない この概念はレイシズム
- ・ マグレブ文化の瓦解 文化的に異なる人口が混ざり合っていくプロセスが20世紀の後半に信じがたいほど加速
 - ・ ユダヤ人とイスラム教徒における混合結婚 ゆっくりだったユダヤ人 早いイスラム教徒 ドイツがヨーロッパの差異主義のセンター
 - ・ 若者たちの圧殺とジハード戦士の製造 イスラム国の戦士への道は失業と軽犯罪にはまる若者にとって海外移住の一形態
 - ・ 宗教的なものに対する恐怖症から脱出すること 信仰のほう教育の大衆化に役立つ
 - ・ イスラム教と平等 イスラム教徒はゾンビにはならない イスラムの平等こそフランスの追求した平等 イスラム教は共和主義を再確立する

結論

- ・ 共和主義的な過去の真の姿
- ・ ネオ共和主義的現在
- ・ 未来のシナリオ 対決 共和国への回帰イスラム教と折り合いをつける